

【全校集会】校則改定についての学級議会を受けて

学校生活をより豊かなものにしていくために、生徒会執行部が提案した服装（通学用の靴や靴下）に関わる校則改定案について、1月14日（火）に、学級議会を行いました。

そして、2月5日（水）に、全校集会を行い、学級議会で挙げた意見に対して、生徒会執行部が返答しました。

この全校集会のねらいは、以下の通りです。

校則改定の目的を確認したり、学級議会での意見を全校で共有し、自分事として考えることを通して、一人一人が穂積中学校の一員という自覚をもち、学校生活をよりよいものにしていこうとする思いをもつことができる。

全校集会では、生徒会執行部の返答を聞き、各学年代表のみなさんが、以下の通り自分の思いを話しました。

<1年生代表>

校則改定により、今の時代にあった校則となり、より生活が豊かになると思います。また、自身でよい・悪いの判断をしなければならないので、一人一人の主体性が培われ、自身の成長につながると思います。

<2年生代表>

校則改定によりできるようになる選択に、自覚と責任をもち、いつでも正しい判断ができる自分、そして、穂積中にしていきたいと思います。

<3年生代表>

3年生は今回の校則改定に直接かかわることはありませんが、服装に限らず、様々なことについて、周りのことを考える「共生」、自分で正しい判断と選択をして行動する「自立」を、それぞれの進路先で、一人一人が大切にしていきたいです。

今後は、議会を開き、「学校生活の約束」の改定の議決をとり、校則改定となります。



